

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 トリドール  
 コード番号 3397 URL <http://www.toridoll.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月10日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 栗田 貴也  
 (氏名) 若山 義晃

TEL 078-200-3430

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	18,298	65.7	2,459	86.0	2,414	85.0	1,180	94.5
21年3月期第2四半期	11,039	—	1,321	—	1,305	—	607	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第2四半期	6,018.17	6,016.91
21年3月期第2四半期	9,888.21	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第2四半期	23,995	6,694	27.8	34,053.31
21年3月期	18,129	5,761	31.8	88,105.16

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 6,680百万円 21年3月期 5,761百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期	—	0.00	—	4,000.00	4,000.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	1,900.00	1,900.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	38,400	56.6	4,540	60.4	4,430	63.6	1,890	39.9	9,634.50

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

〔注〕詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 196,170株 21年3月期 65,390株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 一株 21年3月期 一株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第2四半期 196,170株 21年3月期第2四半期 61,390株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断した見通しであり実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、企業収益において大幅な減少が続いており、失業率は過去最高水準になるなど厳しい状況にあります。

また、生産活動が極めて低い水準にある中で、雇用情勢の一層の悪化が懸念されております。

外食産業におきましても、個人消費は、一旦は経済対策の効果により、持ち直しの兆しが見られたものの、実質雇用者所得が緩やかに減少していることを受け、依然厳しい状況は続いております。

しかしながら、当社は、現在の厳しい市場環境の変化を前向きに受け止め、かつ、この機会に大いなる成長と飛躍を遂げて参りたいと考えております。

当社では、「業態の専門性」を高く掲げ、低価格帯でありながら、「手作り感」や「圧倒的な出来立て感」のある演出によって来店動機を高め、付加価値の高い豊かな食を提供することで、新しい需要を創出してまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高182億98百万円（前年同期比65.7%増）、営業利益24億59百万円（前年同期比86.0%増）、経常利益24億14百万円（前年同期比85.0%増）、四半期純利益11億80百万円（前年同期比94.5%増）と増収増益を維持することができました。

① 丸亀製麺部門

当部門（セルフうどん業態）におきましては、引き続き経営資源を集中させ、当第2四半期累計期間では、ロードサイド72店舗、ショッピングセンター内9店舗の計81店舗を出店したことにより、当第2四半期会計期間末の営業店舗数は、283店舗となり、当部門の売上高は147億82百万円（前年同期比97.2%増）となりました。

② とりどーる部門

当部門（焼き鳥ファミリーダイニング業態）におきましては、当第2四半期会計期間末の営業店舗数は、26店舗のまま増減はなく、当部門の売上高は16億26百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

③ 丸醬屋部門

当部門（ラーメン業態）におきましては、当第2四半期会計期間末の営業店舗数は、24店舗のまま増減はなく、当部門の売上高は8億54百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

④ 長田本庄軒部門

当部門（焼そば業態）におきましては、当第2四半期会計期間で1店舗出店したことにより、当第2四半期会計期間末の営業店舗数は16店舗となり、当部門の売上高は4億82百万円（前年同期比24.9%増）となりました。

⑤ その他部門

当部門におきましては、当第2四半期会計期間末の営業店舗数は、18店舗のまま増減はなく、当部門の売上高は5億54百万円（前年同期比13.0%減）となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期会計期間末における資産は、前会計年度末に比べ58億65百万円増加し、239億95百万円(前期比32.4%増)となりました。主な要因は次のとおりです。

流動資産につきましては、現金及び預金が前会計年度末に比べ10億33百万円増加し、59億94百万円(前期比20.8%増)となりました。

固定資産につきましては、有形固定資産が前会計年度末に比べ36億06百万円増加し、112億23百万円(前期比47.4%増)となりました。これらは、主に新規出店に係わる設備投資によるものです。

投資その他の資産は、前会計年度末に比べ10億52百万円増加し、54億51百万円(前期比23.9%増)となりました。これらは、主に新規出店に係わる敷金及び保証金、建設協力金等の増加によるものです。

#### (負債・純資産)

当第2四半期会計期間末における負債は、前会計年度末に比べ49億32百万円増加し、173億円(前期比39.9%増)となりました。主な増加要因は次のとおりです。

短期借入金及び長期借入金(1年以内返済予定を含む)の合計額が前会計年度末に比べ31億57百万円増加し、104億70百万円(前期比43.2%増)となりました。これらは、積極的な設備投資のための資金調達によるものです。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、主に新規出店にかかる設備投資等のため、投資活動に使用する資金を、営業活動により獲得及び財務活動により調達した結果、前年同四半期に比べ39億42百万円増加し、59億94百万円(前年同期比192.2%増)となりました。

主な要因は次のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、29億45百万円(前年同期比98.2%増)となりました。

これは主に税引前四半期純利益を23億74百万円、減価償却費を9億42百万円計上した一方で、法人税等の支払による支出が9億97百万円あったこと等によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、47億34百万円(前年同期比143.7%増)となりました。これは主に新規出店に伴い、有形固定資産の取得による支出が36億63百万円、敷金及び保証金の支払による支出が3億34百万円及び建設協力金の支払による支出が7億84百万円あったこと等によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、28億22百万円(前年同期比100.5%増)となりました。これは主に短期借入金及び長期借入金による収入が47億円あった一方で、借入金の返済及び社債の償還による支出が15億62百万円、配当金の支払が2億61百万円あったこと等によるものです。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、引続き事業領域の選択と集中を行い、投資資金をより収益性の高い事業である丸亀製麺部門を中心に展開する予定であります。

第20期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の新規出店数は、当初100店舗を計画しておりましたが、当第2四半期会計期間末時点ではすでに82店舗に達しており、当期の出店計画を20店舗上積みし、120店舗に修正させていただきました。

また、出店形態につきましては、今後、都市計画法の改正に伴いショッピングセンターの出店の鈍化が予想されることから、引続きロードサイド店舗への出店を積極的に展開することを計画しております。

以上の状況から通期の業績見通しは、当第1四半期において上方修正しておりますが、丸亀製麺部門の新規出店数が計画を上回っていることに加え、今期から従来のプロモーター制度を組織化し新店推進課を立ち上げた結果、新規出店店舗の業績がより一層早期に安定したことが大きく寄与し、再度、業績見通しを上方修正し、通期の業績見通しを売上高384億円、営業利益45億40百万円、経常利益44億30百万円、当期純利益18億90百万円とさせていただきました。

但し、食材に係る安全性の問題や著しい市況変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特定の会計処理の適用

##### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係わる減価償却の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,994,109	4,960,527
営業未収入金	708,358	689,354
原材料及び貯蔵品	67,711	42,868
繰延税金資産	120,938	133,326
その他	314,063	244,012
流動資産合計	7,205,180	6,070,089
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,027,373	4,727,038
工具、器具及び備品	1,814,646	1,077,543
リース資産	1,317,633	1,059,834
その他	1,063,886	752,149
有形固定資産合計	11,223,540	7,616,566
無形固定資産	115,798	44,785
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,268,252	1,952,832
建設協力金	2,514,516	1,987,682
繰延税金資産	205,333	184,147
その他	523,918	333,831
貸倒引当金	△60,760	△60,007
投資その他の資産合計	5,451,259	4,398,486
固定資産合計	16,790,598	12,059,838
資産合計	23,995,778	18,129,928
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	896,492	709,102
短期借入金	1,000,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,881,340	1,985,034
1年内償還予定の社債	260,000	40,000
リース債務	111,478	100,857
未払法人税等	1,246,680	1,038,210
引当金	162,122	118,061
その他	2,825,217	1,762,728
流動負債合計	8,383,331	6,053,993
固定負債		
社債	—	240,000
長期借入金	7,589,258	5,028,193
リース債務	1,320,990	1,039,161
その他	7,383	7,383
固定負債合計	8,917,631	6,314,737
負債合計	17,300,962	12,368,731

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,318,296	1,318,296
資本剰余金	1,375,944	1,375,944
利益剰余金	3,986,063	3,067,038
株主資本合計	6,680,303	5,761,278
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△64	△81
評価・換算差額等合計	△64	△81
新株予約権	14,576	—
純資産合計	6,694,816	5,761,196
負債純資産合計	23,995,778	18,129,928

(2) 【四半期損益計算書】  
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	11,039,844	18,298,515
売上原価	2,822,197	4,539,501
売上総利益	8,217,646	13,759,014
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	6,895,748	11,299,645
営業利益	1,321,898	2,459,369
営業外収益		
受取利息	8,486	23,089
受取配当金	29	20
受取地代家賃	5,541	4,405
ポイント引当金戻入額	10,723	11,326
その他	10,624	13,346
営業外収益合計	35,406	52,189
営業外費用		
支払利息	28,340	86,187
貸倒引当金繰入額	11,157	753
その他	12,155	9,804
営業外費用合計	51,652	96,745
経常利益	1,305,652	2,414,813
特別利益		
固定資産受贈益	4,200	—
特別利益合計	4,200	—
特別損失		
減損損失	83,515	—
附帯税納付額	5,178	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	40,129
その他	465	—
特別損失合計	89,159	40,129
税引前四半期純利益	1,220,693	2,374,684
法人税、住民税及び事業税	662,740	1,202,909
法人税等調整額	△49,084	△8,809
法人税等合計	613,655	1,194,100
四半期純利益	607,037	1,180,584



(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,220,693	2,374,684
減価償却費	430,751	942,778
株式報酬費用	—	14,576
減損損失	83,515	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	11,157	753
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△10,723	△11,326
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,573	15,258
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△3,535	40,129
受取利息及び受取配当金	△8,516	△23,109
支払利息及び社債利息	28,340	86,187
固定資産除却損	1,329	3,117
固定資産受贈益	△4,200	—
店舗閉鎖損失	465	—
売上債権の増減額 (△は増加)	50,614	△19,003
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,894	△24,842
仕入債務の増減額 (△は減少)	33,838	187,390
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△41,950	12,629
未払金の増減額 (△は減少)	127,537	167,099
未払費用の増減額 (△は減少)	42,143	247,844
その他	△30,997	14,603
小計	1,932,141	4,028,770
利息及び配当金の受取額	590	802
利息の支払額	△28,178	△85,864
法人税等の支払額	△418,276	△997,871
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,486,277	2,945,836
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	55,729	—
有形固定資産の取得による支出	△1,395,196	△3,663,013
無形固定資産の取得による支出	△4,881	△28,286
敷金及び保証金の差入による支出	△261,088	△334,302
敷金及び保証金の回収による収入	19,604	9,145
建設協力金の支払による支出	△381,500	△784,000
建設協力金の回収による収入	30,492	72,848
その他の収入	2,400	2,060
その他の支出	△8,186	△8,946
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,942,627	△4,734,494

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	1,000,000
短期借入金の返済による支出	△332,000	△300,000
長期借入れによる収入	2,000,000	3,700,000
長期借入金の返済による支出	△514,018	△1,242,629
社債の償還による支出	△130,000	△20,000
リース債務の返済による支出	—	△53,381
配当金の支払額	△116,641	△261,560
その他	—	△189
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,407,341	2,822,239
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	950,991	1,033,581
現金及び現金同等物の期首残高	1,100,566	4,960,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,051,557	5,994,109

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし

「参考」

1. 生産、受注及び販売の状況

(1) 仕入実績

当事業年度における仕入実績を部門別に示すと次のとおりであります。

部門	第19期 第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		第20期 第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
丸亀製麺	1,808,762	63.2	3,591,242	77.9
とりどーる	541,300	18.9	512,095	11.1
丸醬屋	234,453	8.2	231,481	5.0
長田本庄軒	96,009	3.4	121,140	2.6
その他	182,242	6.3	155,934	3.4
合計	2,862,768	100.0	4,611,895	100.0

(注) 上記金額には消費税は含まれておりません。

(2) 販売実績

当事業年度における販売実績を部門別に示すと次のとおりであります。

部門	第19期 第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		第20期 第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
丸亀製麺	7,496,880	67.9	14,782,018	80.8
とりどーる	1,684,430	15.3	1,626,198	8.9
丸醬屋	835,855	7.6	854,051	4.7
長田本庄軒	385,972	3.5	482,119	2.6
その他	636,703	5.7	554,128	3.0
合計	11,039,844	100.0	18,298,515	100.0

(注) 上記金額には消費税は含まれておりません。